

2023 年度大会への参加及び大会実施におけるガイドライン(4月1日～)

1. 大会参加について

- (1) 県外で開催される大会への参加は可とする。(開催大会のガイドラインを遵守)
- (2) 大会への参加に不安がある場合は事前に **PCR 検査等(※1)**を受ける。(県内外の全ての大会共通)
- (3) 大会参加に伴う宿泊については可とする。感染防止対策を徹底する。(県内外の全ての大会共通)
- (4) 参加後**1週間の体調管理**、チェックを行うこと。(県内外の全ての大会共通)

2. 陽性者、濃厚接触者になった場合

NO	ケース	対応
1	陽性者で有症状	療養期間解除(7日間)⇒大会参加は 11日目 からとする
2	陽性者で無症状	検体採取日から7日間経過⇒ 8日目 から参加可 ※5日目の検査で陰性となっても大会参加は8日目から
3	濃厚接触者になった場合	最後の接触の翌日から起算して ○2日目及び3日目の 抗原定性検査(※2,3) 又は3日目の PCR 検査で陰性 ⇒ 3日目 から大会参加可
4	接触者となった場合 (1)PCR 検査等の受検を指示	検査の結果で陰性が判明⇒大会参加可
	(2)検査等の対象外	大会参加可
5	同居家族等が PCR 検査を受検する場合	公式大会に限り、参加可 ※発熱等の風邪の症状がある場合、濃厚接触者となった場合を除く
6	同居家族等が陽性者となり、濃厚接触者となった場合	○自粛期間中⇒大会参加不可 ※陽性者の発症日(無症状の場合は検体採取日)又は住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い日を0日として、2日目及び3日目の抗原定性検査 又は 3日目の PCR 検査で陰性⇒ 3日目 から大会参加可
7	大会参加時に家族等が陽性者となり、濃厚接触者になった場合	判明後ただちに大会参加をとりやめ、 帰宅する 。その他の選手等については引き続き大会参加可

※1 PCR 検査等:PCR 検査 又は 抗原定性検査をいう

※2 抗原定性検査キットについて:「研究用」は不可。「**薬事承認**」を受けたものを必ず用いること

※3 抗原定性検査キットについて:鼻咽頭検体 又は 鼻腔検体を用いること(**唾液検体は不可**)

3. その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって変更となることがありますので、大会毎に最新版をご確認下さい。
- (2) 体調管理チェックシートについては、大会によって大会ごとにご確認下さい。
- (3) 不明な点につきまして鳥取陸上競技協会事務局までお問い合わせ下さい。

※5月に国から新たな指針が出る予定です。その後、日本陸連ガイダンスが発出され、鳥取陸協ガイドライン S6 を作成します。それまでは鳥取県の指針に従って大会を実施します。今後、変更がありますので HP でご確認ください。

- (4) 参加者(選手・審判員)の体調チェック⇒1週間前と大会後1週間実施(2023年度版:様式2または様式4)
- (5) 観戦について

●有観客・マスクを着用しての声援可(大会前1週間、大会後1週間の体調チェックが必要)

●届出について⇒**一般観客(2023年度版:様式6)**、**報道関係(2023年度版:様式5)**を提出すること